

福島県労連

2025年10月15日 Vol. 302(10月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町 2-5 一番丁ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkssoren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fkssoren.org/>

福島県最低賃金「令和8年1月1日から、時間額1033円」に!



福島労働局に異議申出書を提出(9月18日、福島第2合同庁舎内会議室)。異議申出書を受けとる鈴木孝春賃金室長(左端)。



福島県に独自支援求める要望書を提出(10月9日、県庁内会議室)。要望書を受けとる岩城秀明雇用労政課主幹兼副課長(左端)。

異議申出書を提出

福島県労連は、9月18日、福島県最低賃金の今年度の改正答申に対する異議申出書を提出しました。異議申出書では、①時間額1033円になっても、生活を保障できる金額ではなく、東京都などの格差は大きいままであるので、さらに引き上げることを、②発効日を例年の10月初旬から、約3か月遅らせることは、最低賃金近傍で働く労働者の生活改善を遅らせ、人材流出への影響もあるので、発効日を早めることを求めました。

9月24日、福島地方最低賃金審議会が開かれ、異議申し出(提出は福島県労連のみ)について議論し、

改正答申どおり、「令和8年1月1日から、時間額1033円」に引き上げることを決めました。

福島県独自の支援策を要望

最低賃金の引上げのためには、中小企業・小規模事業者に対する政府や県の支援が不可欠です。福島地方最低賃金審議会も、政府に10項目、福島県に4項目の要望をまとめています。これをふまえ、福島県労連は、10月9日、福島県に対し、最低賃金の引上げのため、独自の支援策を具体化するように要請しました。中小企業を支援して「全国一律・時間額1500円以上」の最低賃金の実現のために、さらに運動を広げましょう。

軍事侵攻から2年 イスラエルは「ジェノサイド」やめよ!

イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への軍事攻撃が始まり、10月7日で2年になりました。戦闘開始以降、ガザ地区の死者は6万7千人、負傷者は16万5千人を超え、日々増え続けています。また、食料や支援物資の搬入が妨害され、深刻な飢餓状態が続いています。国連人権理事会の調査委員会は、イスラエルがガザでジェノサイド(集団殺害)を行っていることを認定しました。イスラエルがやっていることは、国際法からしても、人道的にも許されない蛮行です。イスラエルは軍事攻撃、ジェノサイドをやめ、ただちに停戦することを求めます。

日本政府の態度も重大です。パレスチナの国家承認は、国連加盟国の約8割、160カ国に広がっていますが、米政府の意向をうけ、見送りました。国連はイスラエルへの制裁強化をよびかけていますが、日本は武器の購入などを続けています。

戦争放棄の日本国憲法を持つ日本こそ、パレスチナ問題の解決に力を果たすときです。みんなで声をあげましょう!



「ジェノサイドやめよ」「いのちを守れ」と声をあげた福島市での宣伝行動(10月7日、福島駅前)

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を！ 教育費拡充訴え、県内で集会開催

ゆきとどいた教育を求める全国署名福島県実行委員会は、9月15日（月）、二本松市勤労者研修センターにおいて、今年で37年目となる「教育全国署名」スタート集会を開催しました。

集会には、実行委員会に参加する県立高教組、教職員組合運動をすすめる会、福島県私立学校教職員組合連合、福島大学教職員組合、全国福祉保育労働組合福島支部から25名が参加しました



講演する板橋さんと、その話に聞き入る参加者

全日本教職員組合執行委員の板橋由太郎さんを招き、「どういう関係？教育予算と署名運動く仕組みと意義と効果と〜」と題する講演が行われました。

板橋さんからは、日本の教育費がOECD諸国と比較して最低レベルであることについて詳しい説明があり、教育費をGDP比で他国並みの4・15%にすれば、20人程度の少人数学級はもとより、私立も公立も保護者の教育費負担を抜本的に軽減でき、教育無償化を大きく前進させることができると強調しました。

集会参加者による職場状況の交流も行われ、この間の運動で私学助成が大きく前進したこと、教職員の欠員状況に課題があることなどを共有し、署名を広げ、改善と前進を求めていくことを確認しました。

今年の署名は、12月の県議会に提出すること、また署名目標を県内2万筆以上とすることが確認されました。

職員が安心して働ける環境の実現を！ 処遇改善求め、県人事委員会に要請

9月17日、福島県公務労組連絡会は、今年度の県人事委員会勧告に向け、県人事委員会交渉を実施しました。交渉にあたって111労組から寄せられた団体署名を提出しました。交渉には、自治労連、県立高教組、県労連、県国公、医労連などの役員が参加し、それぞれが職場の実情を踏まえた意見を述べ、職員が安心して働ける環境の実現を求めました。

出席した郡山市職労の大堀委員長は、国が示した通勤手当に関連する駐車場手当について、全国の人事委員会勧告では手当新設がほとんど見られないことを指摘し、「公共交通が十分でない福島県では、通勤実態を踏まえ必ず勧告に盛り込むべき」と強く要請しました。また、「会計年度任用職員がいなければ業務が成り立たないのが現状であり、処遇格差の是正を図り、安定した雇用と生活を保障してほしい」と訴えました。

さらに、改正給特法では現場の長時間労働の是正にはつながら

いとして、実効性ある対策としてインターバル休暇制度の導入を勧告に盛り込むよう求めました。

このほか、生計費原則に基づく給与勧告、再任用職員の給与・手当の改善、60歳以降の給与減額は是正などを求め、併せて職場の実態を国に的確に伝えるよう要請しました。（自治労連福島県本部）



県人事委員会の担当者(左)に職場の実態や処遇改善を訴える
県公務労組連絡会の代表ら(右)

★各単産・地方労連の定期大会

福島地方労連

第37回定期大会

9月18日、福島市アオウゼで開催。3つの要求を掲げた新年度方針など、全ての議案を参加18名の満場一致で可決しました。なお、新議長には宋戸清氏を選任し、事務局代行としました。

郡山地方労連

第37回定期大会

9月17日、郡山市労働福祉会館で開催。事務局次長の退任、新しい副議長を迎えるなど新体制も決定し、組織強化拡大に向け、組合員が主体的に活動する組合活動を創造しようとした大会決議を採択して終了しました。

会津地方労連

第37回定期大会

10月4日、会津医療生協健康づくりセンターで開催。活動報告や憲法・平和、原発問題での地方労連の役割を確認。討論では賃金や人手不足、年金問題などを共有し理解を深め、地方労連の大事さを再確認。役員は多くが再任されました。



いわき市労連

第37回定期大会

9月18日、いわき教育会館で開催。「対話と学びあい」で仲間を増やし、強く大きないわき市労連をつくろう!」のもとに活動をすすめることが拍手で採択され、能戸俊輔議長、鈴木茂男事務局長を再任しました。

福島県医労連

第67回定期大会

9月21日、二本松福祉センターで開催。単組からは、余裕のない働き方がハラスメントを招いていることや、再開した交流企画が好評との報告がありました。県医労連専従として42年間勤めあげた高橋勝行さんは今後、特別執行委員として組合を支えます。

自治労連福島県本部

第38回定期大会

9月27日、郡山市労働福祉会館で開催。非正規の処遇改善なくして正規の処遇改善なしと訴え、長時間労働削減・人員増の要求を確認。各単組から要求前進やQR活用の取組などが報告されました。役員は笠原浩委員長を再任し、保住和彦書記長を新任しました。



福島県農協労連

第116回定期大会

7月12日、福島県教育会館で開催。安心して働き続けられる職場をめざし、賃金水準の改善、人員不足・残業問題の解消、事業推進の改善、労使協議合意の原則を掲げ、組織一丸で取り組むことを確認。渡辺勝義中央執行委員長を新任、鈴木修書記長が再任されました。

建交労福島県本部

第27回定期大会

9月28日、二本松陽日の郷あづま館で開催。前日の交流会で親睦を深め、翌日の大会では方針を確認し、組合活動の強化、要求闘争の勝利、組織拡大に全力を尽くすことを誓い合いました。

年金者組合

第37回定期大会

7月30日、二本松岳下公民館で開催し、代議員ら60人が出席。年金裁判をたたかい、物価高騰に見合う年金引き上げを求めて、宣伝・署名活動を展開することを確認。役員改選では佐藤征司委員長、安斎通書記長他を選出しました。





まちがいハ7 桂



応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります!

応募はハガキ(メールも可)に、①クイズの答え、②氏名(ふりがなも)、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず(必要な方はペンネームも)書き添えてご応募ください。締め切りは11月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

300号(8月号)の クイズの答えと当選者

答えは①ジョッキの持ち手②男性のネクタイ③観葉植物の葉④椅子の背もたれ⑤右女性のスカート丈⑥右の机の幅⑦マウスの向きでした。応募者は10名で全員が正解。次の方に図書カードを送ります。

- ◇カビゴンママさん みやぎ生協労組
- ◇しろくまさん 福厚労高田分会
- ◇はくさんさん 福厚労塙分会
- ◇梨子さん 福厚労鹿島分会
- ◇みみだるまさん 県立校教組

「労働者・住民のいのちと暮らし、地域を守る自治体キャラバン」に参加しよう!

自治体キャラバンの予定

- ☆10/29(水)30(木)会津
- ☆10/30(木)福島
- ☆11/4(火)二本松
- ☆11/5(水)郡山
- ☆11/7(金)岩瀬須賀川

- ☆11/11(火)白河
- ☆11/12(水)13(木)会津
- ☆11/18(火)19(水)いわき
- ☆11/20(木)21(金)相双

今後の予定

☆第67回福島県・第5回あいづ 母親大会

10/26(日)12:30(会津若松市文化センター)

記念講演「海から見た気候危機と平和の危機」

講師 武本 匡弘 さん(海洋写真家) 資料代800円

☆働くもののいのちと健康を守る

第16回 東北セミナーin岩手

11/1(土)10:30(岩手県公会堂・オンライン併用)

記念講演「メンタル不調を生まない働き方とは」

講師 松浦 健伸 さん(精神科医 石川県 城北病院)

☆福島県春闘共闘委員会 2026年総会

11/20(木)18:00(オンライン)

くわしくは県労連事務局までお問い合わせください

訂正とお詫び

9月号(第301号)の記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- 1.【誤】時間額208円→【正】時間額193円(2ページ)
- 2.【誤】木村緋沙子さん →【正】木村緋紗子さん(3ページ)
- 3.【誤】いわき平和まつり→【正】いわき平和のつどい(3ページ)

聞いて聞いて

私の思いみんなの願い

☆初めての参加でした!次もやってみたいです!

(みやぎ生協労組にゃんにゃんさん)

☆はやく国会開いて政治を前に進めてほしい。給付も減税もしたくないのが透けて見えます。

(みやぎ生協労組だちんさん)

☆物価が高くなりすぎてはいませんか?出した手をひっこめてしまいます

(会津地方労連くろねこさん)

☆清々しい秋風が感じられて心地よいですね。

(福島県医労連ホエイさん)

☆万博も終わりですね

(二本松市職労ミヤクミヤクさん)

自動車共済

割安な共済掛金、補償は充実!
等級別割引・割増の継承ができる!

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ